

2020 年度事業報告書

(自 2020 年 4 月 1 日 至 2021 年 3 月 31 日)

2021 年 6 月 30 日

一般財団法人石田實記念財団

■ 2020 年度の事業報告及び決算報告について

2020 年度 事業報告
＜自 2020 年 4 月 1 日 至 2021 年 3 月 31 日＞

2020 年度は、9 月 11 日（金）に研究奨励賞選考委員会（電子メール審議）を開催し、8 名の推薦者の中から研究奨励賞贈呈者 6 名を選出しました。11 月 13 日（金）開催の研究奨励賞贈呈式・研究発表会（オンライン）では、研究奨励賞を受賞された東北大学大学院情報科学研究科の Tiago Koketsu Rodrigues(チアゴ コウケツ ロドリゲス)助教他 6 名の先生方に 50 万円の賞金と本賞の楯を贈呈致しました。

これにより、1989 年度の財団創設時より 2020 年度までの助成件数は 241 件、賞金額の合計は 133,100,000 円となりました。

ここに、あらためて、宮城県および関係企業の皆々様、そして財団理事、監事、評議員の方々のお力添え、ご厚情に感謝申し上げます。

2020 年度の事業概要は次の通りです。

I. 財団行事

1. 2020 年 5 月 15 日（金）

第 22 回 理事会 ※決議の省略による

第 1 号議案 2019 年度の事業報告及び決算報告について＜承認＞

第 2 号議案 役員（理事、監事）、評議員の辞任および選出（推薦）について

第 3 号議案 2020 年度スケジュールについて

2. 2020 年 6 月 5 日（金）

第 18 回 評議員会 ※決議の省略による

第 1 号議案 2019 年度の事業報告及び決算報告について＜決議＞

第 2 号議案 役員（理事、監事）および評議員の辞任、選出について

第 3 号議案 2020 年度スケジュールについて

第 23 回 理事会

第 1 号議案 大井電気株式会社株主総会の株主議決権の行使について

3. 2020 年 6 月末～

研究奨励賞推薦依頼開始

4. 2020 年 9 月 11 日（金）

研究奨励賞選考委員会 ※電子メール審議

5. 2020 年 11 月 13 日（金）

研究奨励賞発表会・贈呈式 13 時～16 時 ※オンラインにて開催

6. 2021 年 3 月 19 日（金）

第 24 回 理事会 ※決議の省略による

第 1 号議案 2021 年度の事業計画および予算について

第 2 号議案 2021 年度資産の運用について

第 3 号議案 2021 年度財団スケジュールについて

第 4 号議案 決議の省略及びオンライン会議を行った際の報酬について

第 5 号議案 大井監事殿のご後任選出について

報告事項 1 2020 年度の事業報告及び決算報告（仮）について

その他 1 2021 年度財団名簿(案)について

第 19 回 評議員会 ※決議の省略による

第 1 号議案 2021 年度の事業計画および予算について

第 2 号議案 2021 年度資産の運用について

第 3 号議案 2021 年度財団スケジュールについて

第 4 号議案 決議の省略及びオンライン会議を行った際の報酬について

第 5 号議案 大井監事殿のご後任選出について〔新監事 長野智幸氏

報告事項 1 2020 年度の事業報告及び決算報告（仮）について

その他 1 2021 年度財団名簿(案)について

II. 試験研究支援事業

先述の通り、宮城県内の大学、高等専門学校等に対し研究奨励賞候補者の推薦を依頼したところ 8 名の推薦があり、9 月 11 日に開催された研究奨励賞選考委員会での審議の結果、6 件の研究が採択されました。＜P3.資料-1＞

2020 年度研究奨励賞受賞者

資料-1

「機械学習を適用したモバイルエッジコンピューティングシステムの管理方法」に関する研究 東北大学大学院情報科学研究科 助教 Tiago Koketsu Rodrigues 先生
「力学提示機能を有する脳神経外科手術シミュレータ」に関する研究 東北学院大学工学部機械知能工学科 准教授 佐瀬 一弥 先生
「キャピテーション気泡を利用した超音波がん治療」 東北大学大学院工学研究科通信工学専攻 准教授 吉澤 晋 先生
「スピントロニクス省エネルギー・高性能・高信頼 LSI 設計技術」に関する研究 東北大学電気通信研究所 准教授 夏井 雅典 先生
「カプセル型内視鏡の超小型化・超高機能化技術」に関する研究

仙台高等専門学校総合工学科	准教授 鈴木 順 先生
「MEMS・LSI 集積化による分布型触覚センサ」に関する研究	
東北工業大学工学部電気電子工学科	准教授 室山 真徳 先生

Ⅲ. 試験研究設備設置事業

本年度はありませんでした。

Ⅳ. 講演会開催事業

研究奨励賞贈呈者による研究発表会の開催

2020 年度試験研究支援事業における研究奨励賞贈呈者による研究発表会を、同年度の主事業と位置付け、次の通り開催しました。

開催日	2020 年 11 月 13 日（金）13 時～16 時 ※オンラインにて開催		
来 賓	東北大学大学院工学研究科長工学部長	長坂 徹也 先生	
	東北大学電気通信研究所長	塩入 諭 先生	
	東北学院大学工学部工学部長	岩谷 幸雄 先生	
	東北工業大学工学部長	小林 正樹 先生	
	仙台高等専門学校校長	福村 裕史 先生	

研究奨励賞贈呈者による発表内容につきましては、上記Ⅱの試験研究支援事業と同じ内容となります。

Ⅴ. 決算報告

2020 年度の決算報告をさせていただきます。

貸借対照表＜P.6 資料-2＞、正味財産増減計算書＜P.8 資料-4＞をベースに説明させていただきます。

まず、貸借対照表から説明をさせていただきます。

2. 固定資産ですが、合同運用指定金銭信託（額面 50,000,000 円）の信託満了によって得られた 50,000,000 円を元手に、より利回りのよい金融資産の獲得を目指して資産の運用を行いました。

この結果、2019 度比で、普通預金は+24,768,382 円、投資信託口座+6,959 円、金銭信託-50,000,000 円、投資信託（積立）+20,219,709 円、投資信託（私募投信）+4,562,930 円、投資有価証券（国債・地方債）-168,000 円、投資有価証券（株式）+15,465,200 円となり固定資産は 14,819,083 円増加し、1. 流動資産と合わせた一般正味財産増加額は 14,855,180 円増加の 207,003,233 円となりました。

一般正味財産がプラスとなった要因は、主に評価益が発生し、株式等が 2019 年度より大幅に増加したことによるものです。

この評価益につきましては、2020 年度投資有価証券評価損益について<P.7 資料-3>をご参照下さい。

続きまして、正味財産増減計算書<P.8 資料-4、P.9 資料-5>につきまして説明をさせていただきます。

2020 年度は、評価益の発生による基本財産運用益の増加や基本財産受取配当金の増加などにより経常収益は 2019 年度比+1,066,718 円の 1,981,422 円となりました。

経常費用の変動についてですが、2020 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、各事業費や旅費交通費をはじめとした多くの費用が 2019 年度と比較して減少しており、経常費用は最終的に-4,416,435 円の 4,429,301 円となりました。

これにより、経常収支は(1,981,422 円-4,429,301 円)=-2,447,879 円となりましたが、前述の評価益が 17,303,059 円あったことから、最終収益は(17,303,059 円-2,447,879 円)=14,855,180 円となりました。

評価益の内訳につきましては、2020 年度投資有価証券評価損益について<P.7 資料-3>を、財産目録等の資料につきましては<P.10 資料-6~P.12 資料-8>ご参照下さい。

また、決算報告にかかる内部監査報告書は P.13 資料-9、外部監査報告書は P.14~15 資料-10) となっております。

貸借対照表

2020年4月1日から2021年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	28,425	21,339	7,086
普通預金A	3,790,878	3,983,441	△ 192,563
普通預金B	181,348	124,685	56,663
普通預金C	7	7	0
投資信託口座	800,000	800,000	0
仮払金	318,642	153,621	165,021
流動資産 合計	5,119,300	5,083,093	36,207
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
普通預金	37,717,350	12,948,968	24,768,382
投資信託口座	3,690,603	3,683,644	6,959
金銭信託	0	50,000,000	△ 50,000,000
投資信託（積立）	52,609,368	32,389,659	20,219,709
投資信託（私募投信）	6,886,183	2,323,253	4,562,930
投資有価証券（国債・地方債）	17,329,500	17,497,500	△ 168,000
投資有価証券（株式）	83,646,900	68,181,700	15,465,200
基本財産 合計	201,879,904	187,024,724	14,855,180
(2) その他の固定資産			
工具・器具	4,029	40,236	△ 36,207
その他の固定資産 合計	4,029	40,236	△ 36,207
固定資産合計	201,883,933	187,064,960	14,818,973
資産合計	207,003,233	192,148,053	14,855,180
II 負債の部			
未払法人税等	72,000	72,000	0
負債合計	72,000	72,000	0
III 正味財産の部			
一般正味財産	206,931,233	192,076,053	14,855,180
（うち基本財産への充当額）	（ 201,879,904 ）	（ 187,024,724 ）	（ 14,855,180 ）
負債及び正味財産合計	207,003,233	192,148,053	14,855,180

2020年度 投資有価証券評価損益について

勘定元帳9-3 投資有価証券評価益	金額（円）	勘定元帳9-4 投資有価証券評価損	金額（円）
合計	17,809,399	合計	506,340
評価損益計		17,303,059	

正味財産増減計算書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	(1,980,995)	(910,273)	(1,070,722)
基本財産受取利息	225,000	549,373	△ 324,373
基本財産受取配当金	1,755,995	360,900	1,395,095
② 受取寄付金	(0)	(0)	(0)
受取寄付金	0	0	0
③ 雑収益	(427)	(4,431)	(△ 4,004)
受取利息	427	231	196
雑収入	0	4,200	△ 4,200
経常収益計	1,981,422	914,704	1,066,718
(2) 経常費用			
① 事業費	(3,380,233)	(5,743,322)	(△ 2,363,089)
・ 試験研究支援事業費	(3,264,000)	(5,120,010)	(△ 1,856,010)
奨励賞	3,247,500	4,830,000	△ 1,582,500
役員報酬	0	140,000	△ 140,000
旅費交通費	0	35,000	△ 35,000
会場諸費	0	0	0
雑費	16,500	115,010	△ 98,510
・ 講演会開催及び後援事業費	(116,233)	(493,312)	(△ 377,079)
諸謝金	0	0	0
役員報酬	40,000	160,000	△ 120,000
旅費交通費	10,000	61,500	△ 51,500
会場諸費	0	247,670	△ 247,670
負担金	0	0	0
雑費	66,233	24,142	42,091
・ 産学官交流事業費	(0)	(130,000)	(△ 130,000)
寄附金	0	130,000	△ 130,000
雑費	0	0	0
② 管理費	(1,049,068)	(3,102,414)	(△ 2,053,346)
役員報酬	0	360,000	△ 360,000
会議費	0	402,690	△ 402,690
旅費交通費	20,550	273,920	△ 253,370
通信費	93,135	114,366	△ 21,231
事務用消耗品費	75,284	107,433	△ 32,149
広告宣伝費	275,732	1,376,292	△ 1,100,560
雑費	137,921	42,003	95,918
支払手数料	337,529	316,303	21,226
支払利息	0	0	0
法人税等	72,000	72,000	0
減価償却	36,207	36,207	0
租税公課	710	1,200	△ 490
経常費用計	4,429,301	8,845,736	△ 4,416,435
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,447,879	△ 7,931,032	5,483,153
基本財産評価損益等	17,303,059	8,675,082	8,627,977
評価損益等計	17,303,059	8,675,082	8,627,977
当期経常増減計	14,855,180	744,050	14,111,130
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	14,855,180	744,050	14,111,130
一般正味財産期首残高	192,076,053	191,332,003	744,050
一般正味財産期末残高	206,931,233	192,076,053	14,855,180
II 正味財産期末残高	206,931,233	192,076,053	14,855,180
投資有価証券評価益		17,809,399	
投資有価証券評価損		506,340	
評価損益等計		17,303,059	

正味財産増減計算書内訳書
2020年4月1日から2021年3月31日まで

科 目	公益目的事業		法人会計 (管理費)	内部取引等消去	合計 (A)	2019年度 決算 (B)	差異 (A-B)
	種1	共通					
I 一般正味財産増減の部							
1. 経費増減の部							
(1) 経費収益							
① 基本財産運用利益	(1,386,696)	(0)	(594,299)	(0)	(1,980,995)	(910,273)	(1,070,722)
基本財産受取利息	157,500	0	67,500	0	225,000	549,373	△ 324,373
基本財産受取配当金	1,229,196	0	526,799	0	1,755,995	360,900	1,395,095
② 受取寄附金	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
受取寄附金	0	0	0	0	0	0	0
③ 雑収益	(0)	(0)	(427)	(0)	(427)	(4,431)	(△ 4,004)
雑収益	0	0	427	0	427	231	196
受取利息	0	0	0	0	0	4,200	△ 4,200
雑収入	0	0	0	0	0	914,704	1,066,718
経常収益計	1,386,696	0	594,726	0	1,981,422		
(2) 経費費用							
① 事業費	(3,380,233)	(0)	(0)	(0)	(3,380,233)	(5,743,322)	(△ 2,363,089)
・ 試験研究支援事業費	(3,264,000)	(0)	(0)	(0)	(3,264,000)	(5,120,010)	(△ 1,856,010)
要員費	3,247,500	0	0	0	3,247,500	4,830,000	△ 1,582,500
役員報酬	0	0	0	0	0	140,000	△ 140,000
旅費交通費	0	0	0	0	0	35,000	△ 35,000
会費諸費	0	0	0	0	0	0	0
雑費	16,500	0	0	0	16,500	115,010	△ 98,510
・ 講演会開催及び後援事業費	(116,233)	(0)	(0)	(0)	(116,233)	(493,312)	(△ 377,079)
諸謝金	0	0	0	0	0	0	0
役員報酬	40,000	0	0	0	40,000	160,000	△ 120,000
旅費交通費	10,000	0	0	0	10,000	61,500	△ 51,500
会費諸費	0	0	0	0	0	247,670	△ 247,670
負担金	0	0	0	0	0	0	0
雑費	66,233	0	0	0	66,233	24,142	42,091
・ 産学官交流事業費	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(130,000)	(△ 130,000)
寄附金	0	0	0	0	0	130,000	△ 130,000
雑費	0	0	0	0	0	0	0
② 管理費	(0)	(0)	(1,049,068)	(0)	(1,049,068)	(3,102,414)	(△ 2,053,346)
役員報酬	0	0	0	0	0	360,000	△ 360,000
会費諸費	0	0	0	0	0	402,690	△ 402,690
旅費交通費	0	0	0	0	0	273,920	△ 253,370
通信費	0	0	20,550	0	20,550	114,366	△ 21,231
事務用消耗品費	0	0	93,135	0	93,135	107,433	△ 32,149
広告宣伝費	0	0	75,284	0	75,284	1,376,292	△ 1,100,560
雑費	0	0	275,732	0	275,732	42,003	95,918
支払手数料	0	0	137,921	0	137,921	316,303	21,226
支払利息	0	0	337,529	0	337,529	0	0
法人税等	0	0	0	0	0	0	0
減価償却費	0	0	72,000	0	72,000	0	0
租税公課	0	0	36,207	0	36,207	36,207	0
経常費用計	3,380,233	0	1,049,068	0	4,429,301	8,845,736	△ 4,416,435
評価損益等調整前当期経費増減額	△ 1,993,537	0	△ 454,342	0	△ 2,447,879	△ 7,931,032	5,483,153
基本財産運用利益等	0	0	17,303,059	0	17,303,059	8,675,082	8,627,977
評価損益等計	0	0	17,303,059	0	17,303,059	8,675,082	8,627,977
当期経常増減計	△ 1,993,537	0	16,848,717	0	14,855,180	744,050	14,111,130
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
経常外収益	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
経常外費用	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,993,537	0	16,848,717	0	14,855,180	744,050	14,111,130
一般正味財産期首残高					192,076,053	191,332,003	744,050
一般正味財産期末残高					206,931,233	192,076,053	14,855,180
II 指定正味増減の部							
当期指定正味財産増減額					0	0	0
指定正味財産期首残高					0	0	0
指定正味財産期末残高					0	0	0
III 正味財産期末残高					206,931,233	192,076,053	14,855,180

財産目録

2021年3月31日現在

資料一6

(単位：円)

科 目		金 額		
I. 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金				
現金1	現金手元有高	28,425		
普通預金A		3,790,878		
普通預金B		181,348		
普通預金C		7		
投資信託口座		800,000		
仮払金	(受取利息配当金の源泉所得税他)	318,642		
	現金預金 合計	5,119,300		
	流動資産 合計		5,119,300	
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
現金預金				
普通預金		37,717,350		
投資信託口座		3,690,603		
	現金預金計	41,407,953		
投資有価証券（国債・地方債）9-1				
国債	第144回20年国債 (期間20年 年利1.5%、満期H43年3月20日)	17,329,500		
	債券計	17,329,500		
投資有価証券（株式）				
A		2,250,000		
B		58,386,000		
C		2,925,200		
D		1,314,200		
E		1,712,400		
F		4,464,000		
G		2,652,600		
H		3,228,300		
I		1,381,200		
J		1,577,000		
K		3,756,000		
	株式計	83,646,900		
投資信託（積立）				
A		18,028,491		
B		17,314,433		
C		17,266,444		
投資信託（私募投信）				
A		6,886,183		
	投資信託計	59,495,551		
	基本財産 合計	201,879,904		
(2) その他の固定資産				
工具・器具	測定器他計7点	4,029		
	その他の固定資産 合計	4,029		
	固定資産合計		201,883,933	
	資産合計			207,003,233
II. 負債の部				
1. 流動負債				
未払法人税等		72,000		
	流動負債合計	72,000		
	負債合計			72,000
	正味財産合計			206,931,233

財務諸表に対する注記

資料－７

1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法について
 その他の有価証券
 時価のあるもの・・・時価法を採用している。
 時価のないもの・・・原価法を採用している。
- (2) 固定資産の減価償却について
 工具・器具・・・・・・・・・・・・・定額法による減価償却を実施している。
- (3) 消費税等の会計処理・・・税込方式を採用している。

2 基本財産の増減額及びその残高は次の通りである。

単位：円

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
現金預金	16,632,612	25,168,382	393,041	41,407,953
投資有価証券(債券)	17,497,500	0	168,000	17,329,500
投資有価証券(投資信託)	34,712,912	24,795,849	13,210	59,495,551
投資有価証券(株式)	68,181,700	15,803,540	338,340	83,646,900
金銭信託	50,000,000	0	50,000,000	0
合 計	187,024,724	65,767,771	50,912,591	201,879,904

3 基本財産の財源等の内訳は次の通りである。

単位：円

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
現金預金	41,407,953	0	41,407,953	0
投資有価証券(債券)	17,329,500	0	17,329,500	0
投資有価証券(投資信託)	59,495,551	0	59,495,551	0
投資有価証券(株式)	83,646,900	0	83,646,900	0
金銭信託	0	0	0	0
合 計	201,879,904	0	201,879,904	0

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次の通りで：

単位：円

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
工具・器具	6,350,875	6,346,846	4,029
合 計	6,350,875	6,346,846	4,029

5 金融商品の状況に関して

- (1) 金融商品に対する取組方針
 当法人は、公益目的事業の財源の相当部分を運用益によって賄うため、債券、株式、投資信託により資産運用する。なお、デリバティブ取引は行わない方針である。
- (2) 金融商品の内容及びリスク
 投資有価証券は、債券、株式、投資信託であり、発行対の信用リスク、市場価格のリスクにさらされている。
- (3) 金融商品の内容及びリスクに係る管理体制
 - ①信用リスクの管理
 債券については、発行体の状況を定期的に把握し、理事会に報告する。
 投資信託については、関連する市場の動向を把握し、運用状況を理事会に報告する。
 - ②市場リスクの管理
 株式については、時価を定期的に把握し、理事会に報告する。
 投資信託については、関連する市場の動向を把握し、運用状況を理事会に報告する。

付属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記2に記載のとおりである。

2 引当金の明細

該当なし。

監 査 報 告 書

2021年5月14日

一般財団法人石田實記念財団

理事長 根元 義章殿

一般財団法人石田實記念財団

監事 齊藤 伸



監事は、2020年4月1日から2021年3月31日までの事業年度の公益目的支出計画報告書に関する監査を致しました。その方法及び結果について、次のとおり報告致します。

1. 監査の方法及びその内容

監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決済書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査致しました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る公益目的支出計画実施報告書について検討しました。

2. 監査意見

公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

以上

独立監査人の監査報告書

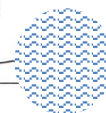
2021年5月7日

一般財団法人 石田實記念財団
理事会 御中

柴田公認会計士事務所
宮城県仙台市青葉区二日町 13-22-803

公認会計士

柴田 純一



監査意見

私は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第124条第2項第1号の規定に基づく監査に準じて、一般財団法人石田實記念財団の2020年4月1日から2021年3月31日までの2020年度事業年度の貸借対照表、正味財産増減計算書及び財務諸表に対する注記並びに附属明細書（以下「財務諸表等」という。）について監査を行った。

私は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産、正味財産増減の状況を、すべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における私の責任は、「財務諸表等の監査における監査人の責任」に記載されている。私は我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。私は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

財務諸表等に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表等を作成するに当たり、理事長は、継続事業の前提に基づき財務諸表等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に基づいて継続事業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

財務諸表等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 不正又は誤謬による重要な虚偽表示のリスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示のリスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- 財務諸表等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの

合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。

- 理事者が継続事業を前提として財務諸表等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続事業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続事業として存続できなくなる可能性がある。
- 財務諸表等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表等の表示、構成及び内容、並びに財務諸表等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

法人と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

■ 一般財団法人石田實記念財団 理事・監事・評議員名簿

一般財団法人石田實記念財団 役員および評議員

	役職名	氏名 (敬称略)	現職 ＜2020年6月30日現在＞
1	理事長	根元 義章	・東北大学名誉教授 ・国立研究開発法人 情報通信研究機構耐災害 ICT 研究センター 統括特別研究員
2	常務理事	米谷 恭児	日本テクニカル・サービス株式会社 代表取締役社長
3	理事	澤谷 邦男	東北大学名誉教授
4	理事	鈴木 陽一	・東北大学名誉教授 ・国立研究開発法人 情報通信研究機構耐災害 ICT 研究センター長
5	理事	石田 甲	大井電気株式会社 代表取締役社長

6	理事	金井 義和	日本フィールド・エンジニアリング株式会社 代表取締役社長
7	理事	富田 雄介	岩田合同法律事務所 弁護士
8	理事	川又 政征	・東北大学名誉教授 ・東北職業能力開発大学校校長
9	監事	齊藤 伸	東北大学大学院工学研究科電子工学専攻 教授
10	監事	大井 薫	三菱 UFJ 信託銀行株式会社 仙台支店 支店長
11	評議員	上杉 直	・東北工業大学名誉教授 ・東北工業大学シニアアドバイザー
12	評議員	伊藤 努	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 東北センター 産総研イノベーションコーディネーター
13	評議員	山田 顕	・東北学院大学 名誉教授 ・東北学院大学 工学部特別教授
14	評議員	加藤 一夫	大井電気株式会社 取締役仙台研究開発センター長
15	評議員	仁井 克己	大井電気株式会社 取締役経営管理本部長
	事務局	桜井 康二	大井電気株式会社 仙台研究開発センター 総務 G

以上